

小乃びて後潔く切縫。一々老黨ども是を反撲して禽く自害。ナニアリ。名士多く大和ちが始終の呉率止忠多義。又勇かしく更小丘也。感トモ猶あまりある。然るに長岡藤孝へ潜く。内外小狩て。ひふ喰ども返。吾せど。後少人多も斬りしづ。是犯す内へ。多邊々小云闇主。被。自害。讀りしづ。渴見首の血脉。懲。限ること限。矣。本陣へ返す。二瀬が終り。セ言。此を。小ぞ信長。深く情。至。ひ孫孝ふ。今。死體と。厚く葬らむ。儲信長の。その翌日。核の。事。難向せられ。宇治五ヶの庄。柳山。宇治橋の。か。十丁。少。有。少。と。と。ま。ら。ら。軍の。日早矢不川を渡して。攻。慕。べと。御下。諱。。向。木下。孫吉。亦。軍の。考。少。公。方。家。い。か。ど。傍。ぐ。も。自。軍。川。を。渡。を。お。か。と。模。の。諒。機。へ。翻。年。往。う。倘。諭。を。ぎ。時。少。至。バ。公。方。御。自。害。を。勧。る。者。互。そ。

御生害あらんも計がてし。然るに、大將信長義昭公也攻殺せしと悪名  
を好と同じて、逢臣の罪と得て多く請へ。是も半途の發令。何  
事公方の御生害と止め奉り。をす。方術とがふと、要時心と若くあり。  
義公信長諸本の勇士。小堀内彌三郎宗重となり。有る者勇烈き  
のりからず。諸兵兵士。覺總倫。ひまび。信長殊不愛。至ひ傍と放。至  
そぎりしが秀吉も。用ひた。と。主。次。信長の御前。お參り。傷きの人に  
退ひき。密か云。よき。ひ。家。生。害。もし。され。君の御名。正。し。ま  
是を止め奉り。ん。や。う。く。の。計。ら。ひ。の。が。必。宣。首。尾。よ。く。調。べ。ざ。然。ども  
遠事。小。京。く。れ。太。丈。の。人。の。み。を。事。さ。し。堀。内。彌。三。郎。宗。重。あ。る。事  
ら。か。然。一。筋。ぐ。表。向。る。余。せ。と。も。宣。し。よ。ど。渠。と。先。陣。小。か。て。り。ま。と。余。  
小。居。宣。し。く。裏。一。倉。用。ゆ。ま。と。裏。と。余。と。信。長。ち。ま。と。心。得。し。每。則